

製品名: GM2/GD2 合成酵素ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11529**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	B4GALNT1
別名	B4GALNT1; GALGT; SIAT2; Beta-1; 4 N-acetylgalactosaminyltransferase 1; (N-acetylneuraminy)-galactosylglucosylceramide; GM2/GD2 synthase; GalNAc-T
遺伝子 ID	2583.0
SwissProt ID	Q00973
免疫原	抗血清はヒト B4GALNT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

背景

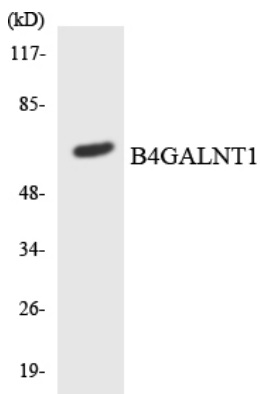
β -1,4-N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼ 1 (B4GALNT1) ヒト GM2 および GD2 ガングリオシドは、シアリン酸含有

スフィンゴ糖脂質です。GalNAc-T は、G(M2)および G(D2)スフィンゴ糖脂質の生合成に関与する酵素です。GalNAc-T は、 β -1,4 結合を介して GalNAc を G(M3)および G(D3)に転移する反応を触媒し、それぞれ G(M2)および G(D2)を合成します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見出されています。 [RefSeq 提供、2013 年 2 月],触媒活性:UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン + 1-O-(O-(N-アセチル- α -ニューラミノシル)-(2->3)-O- β -D-ガラクトピラノシル-(1->4)- β -D-グルコピラノシル)-セラミド = UDP + 1-O-(O-2-(アセチルアミノ)-2-デオキシ- β -D-ガラクトピラノシル-(1->4)-O-(N-アセチル- α -ニューラミノシル)-(2->3))-O- β -D-ガラクトピラノシル-(1->4)- β -D-グルコピラノシル)-セラミド,機能:ガングリオシド GM2、GD2、GA2 の生合成に関与,オンライン情報:Beta-1,4 N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼ 1、オンライン情報:GlycoGene データベース、経路:タンパク質修飾; タンパク質グリコシル化、類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 2 ファミリーに属します。、サブユニット:ホモ二量体; ジスルフィド結合、

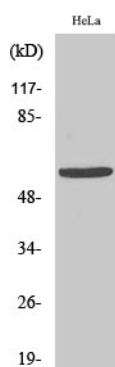
研究分野

スフィンゴ糖脂質の生合成;

画像データ



B4GALNT1 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



GM2/GD2 合成酵素ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析